

東京都公文書館だより

Tokyo Metropolitan Archives News

第20号

【編集・発行】

東京都公文書館

平成23年度登録第4号

平成24年3月発行

【印刷】

(株)まこと印刷

《目次》

東京都公文書館仮移転のご挨拶	1
東京都公文書館・公益財団法人特別区協議会連携事業 パネル展「大震災の記憶と記録」	2
利用案内	4

東京都公文書館仮移転のご挨拶

東京都公文書館は、東京都港区（海岸一丁目）に昭和43年10月1日に開設され、都の公文書や庁内刊行物などを系統的に収集・保存し、これら所蔵資料の効率的な利用を図るとともに、併せて都に関する修史事業を行ってまいりました。

現在までの間、所蔵資料のマイクロフィルム化事業や電子化事業への取り組みをはじめ、作成後30年を経過した公文書の一般公開等のサービス事業や広報普及事業の充実、明治時代から継続されている史料編さん事業を着実に進めるなど、館の機能を最大限発揮できるよう努力を重ねてまいりました。

さて、当館は開設以来、港区で業務を行ってまいりましたが、庁舎の老朽化、狭隘化の問題やIT化などの発展に対処するため、今後計画される新しい公文書館開設までの間、世田谷区（玉川一丁目）^(※1)の仮移転先において平成24年4月^(※2)から業務を行ってまいります。



これからも東京都公文書館は、多くの方に親しまれ、利用していただける施設として、基盤機能の整備・強化を図り、サービスの充実に努めてまいります。

平成24年3月吉日

東京都公文書館長

（※1）仮移転先所在地は4ページをご覧ください。

（※2）閲覧業務は、**5月11日（金）**から開始します。

東京都公文書館・公益財団法人特別区協議会連携事業

パネル展「大震災の記憶と記録」

連携事業の開催

平成 23 年 8 月 16 日（火）から 9 月 7 日（水）までの会期で、東京都公文書館・公益財団法人特別区協議会との連携事業としてパネル展「大震災の記憶と記録」を開催しました。会場となった千代田区飯田橋の東京区政会館 1 階エントランスには連日多数の観覧者がみえ、丹念に展示資料をご覧いただきました。

平成 22 年度に続いての連携事業でしたが、今年は東日本大震災をうけて過去の災害と復興の歴史への関心が高まっていることに応じて、本テーマを選びました。過去に東京地域を襲い甚大な被害をもたらした安政 2 年（1855）の大地震と、大正 12 年（1923）の関東大震災を取り上げ、その被災状況、救護・救援の動き、復興事業の展開を跡づけていきました。以下、展示構成に沿う形でその概要をご紹介します。

I 安政大地震と江戸

関東大震災の 68 年前にあたる安政 2 年（1855）10 月 2 日夜 10 時頃、推定マグニチュード 6.9 の直下型地震が発生、丸の内や隅田川河口域等で震度 6 を観測しました。火災による焼失面積は 2.2 平方 km にとどまりましたが、建物倒壊による被害は大きく、この地震による死者は 1 万人を超えたとみられています。

幕末江戸の情報空間では、震災直後から瓦版が発行され罹災地域を図示し、さまざまな被害実態を伝えました。その後一定の時が経過すると、災害の実態を挿絵で表現し、さまざまな挿話と合わせて地震災害情報の集大成を図る見聞記録、震災

ルポルタージュが発行されていきます。また、鯰が地震を起こすという俗信をもとに、これを鹿島神宮の要石が押さえているとの地震伝説をモチーフにしたユニークな地震鯰絵と呼ばれる錦絵が実に多くの種類生み出されていきました。民衆レベルで流布した多様な情報からは、当時の人々の意識や、時には意識下の願望までも読み解くことができ、地震の社会史への道が開かれています。

このコーナーでは、瓦版・震災ルポルタージュ・地震鯰絵の代表的な作品を紹介致しました。

II 関東大震災の被害と対応

大正 12 年（1923）9 月 1 日、午前 11 時 58 分、マグニチュード 7.9 の断層地震が発生、関東地方の広い範囲で建造物の倒壊、地割れ、山崩れ等の破壊現象が発生しました。地震発生が昼時であったことから、各所で発生した火災が倒壊家屋等に延焼し、大火災による甚大な二次的被害が生じ、10 万 5 千人を超える尊い命が失われました。

ここではまず、火災の発生時間と焼失経路を詳細に分析した「東京市火災動態地図」9 枚を合わせたパネル（3 ページ）により、東京市街の大半を焼き尽くした大火災の態様を紹介しました。この図は、大震災の実態調査を以後の防災に資するため設置された震災予防調査会の報告書に附図として収められたもので、中村清二委員（当時、東京帝国大学理学部教授）の編集作成になるものです。火災がどこで発生し、何時にどこまで広がっていったかを、丹念な聞き取り調査をもとに克明に図示したもので、大震災後の防火対策を策定していく上で科学的根拠を提供することとなりました。

また、当館が所蔵する『東京府大震災写真帖』に収録されている多数の白黒写真をもとに、関東大震災の被災状況や、救援・救護活動の諸相を紹介しました。これらの写真は東京府の委嘱を受けた写真家・岡田紅陽（本名岡田賢治郎）によって撮影されたものです。岡田紅陽は明治 28 年（1895）新潟県生まれ、早稲田大学入学後から写真に興味を持ち始め、長い写真家としての活動を通して富士山撮影に身を捧げ、千円札に描かれている富士山の絵も彼の「湖畔の春」という作品が元になっています。

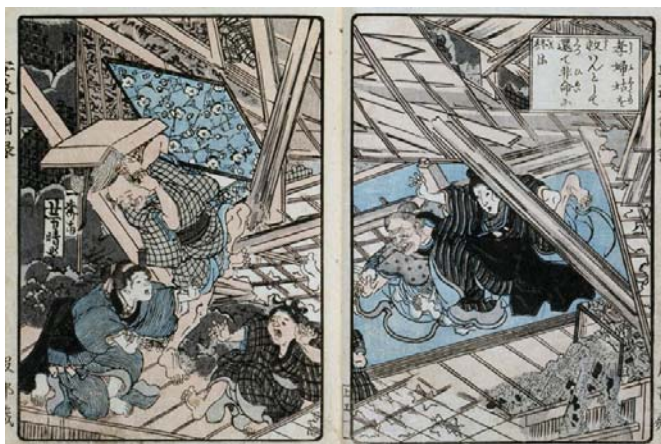
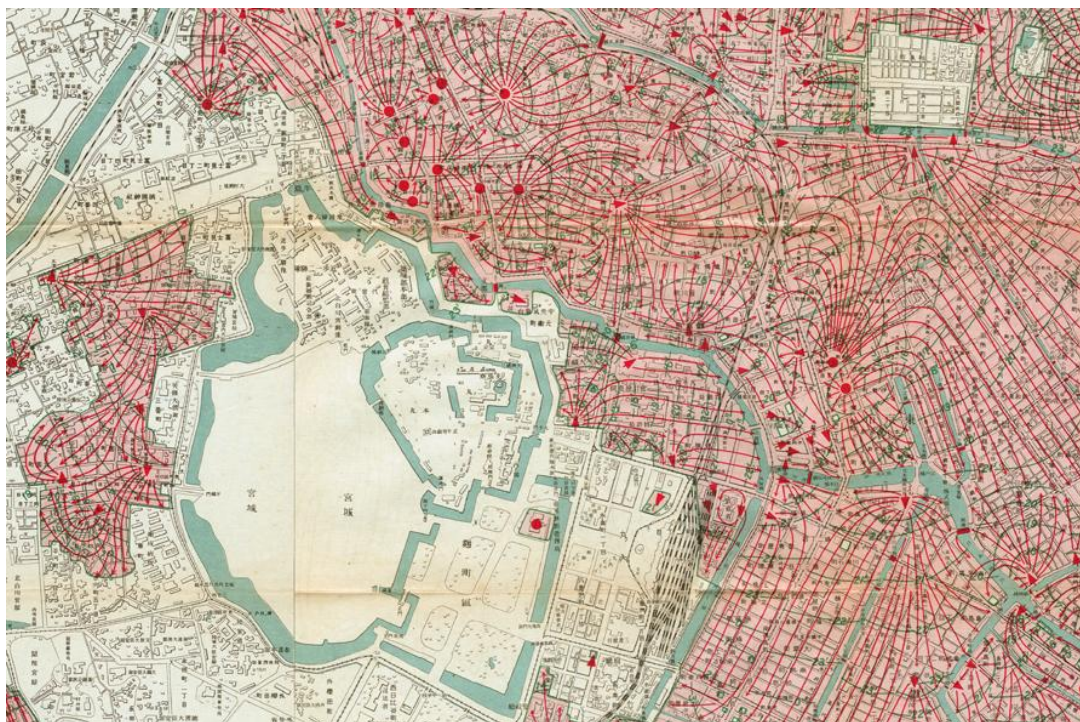


図 1 「孝婦姑を救はんとして還て非命に終る」
（『安政見聞録』）



「東京市火災動態地図」(『地震予防調査会報告』第百号・
戊、大正十四年刊)
九分割図を合成してパネルを作成。左図は一部を抜粋



図3 「上野公園内大仏の破損」
『東京府大震災写真帖』

当時新進気鋭の写真家がファインダーを通して捉えた震災直後の光景からは、大震災の破壊力と、そのもとでたくましく生き抜いた人々の力を感じとることができるでしょう。

Ⅲ 復興への取り組み

東京の震災復興については、当初、帝都復興院によって横浜の復興も含めて10億円にのぼる大規模な計画が作成されました。しかしその計画は帝都復興審議会や衆議院の審議を経て、帝都復興院の廃止とともに、予算を4億6千万余りに削減され、大幅な縮小を余儀なくされます。

それでも内務省外局に改組された復興局と東京市の連携により事業は着実に進展し、昭和通りや大正通り(靖国通り)等の幹線道路整備、焼失地域全体に及ぶ区画整理事業、鉄筋コンクリート建てによる市立小学校の整備等、世界に類を見ない大規模な復興事業が実施されていきました。

また東京府の復興事業は東京市の事業費約1億5千万円に対して200万円余りとどまりましたが、京浜国道等4国道の拡幅整備とそこに含まれる千住大橋等の建設、各府立学校の鉄筋コンクリート校舎再建等に結実しました。

本コーナーでは、復興事業が一段落した昭和5年(1930)に東京市が発行した『帝都復興事業図表』を中心に展示を構成しました。



これまでご紹介してきた資料は東京都公文書館で閲覧利用することができます。『関東大震災と情報——東京都公文書館所蔵関東大震災関係資料目録』が刊行されていますので、併せてご利用ください。

利用案内

◇ 来館について

当館の利用には予約の必要はありませんが、次のような場合は、事前にご連絡ください。

- ・専門的な調査や、古い資料についてのご相談
- ・大量に資料を利用したい場合
- ・撮影したい場合

◇ 利用の注意点

当館1階入口で入館受付を済ませた後、上履きに履き替え、2階閲覧室へお入りください。バッグ等のお荷物は、ロッカー（無料）に入れてください。

※鍵の紛失にご注意ください。

※エレベーターはありません。

◇ 閲覧方法

当館の資料は、全て閉架式の書庫に保管してあります。閲覧を希望される方は、閲覧室に備え付けの目録やパソコン端末で希望の資料を検索し、「閲覧票」に記入し、ご提出ください。

資料によっては原本保護のため、マイクロフィルム又はDVDでの閲覧をお願いしています。

◇ 複写について

複写を希望される方は「複写申請票」に記入しご提出ください。電子式複写は、一人（1団体）1日20枚までです。ただし、マイクロフィルム及びDVDからの複写については枚数制限がありません。複写料金は、いずれも1枚20円です。

※できる限り小銭をご用意ください。

◇ 利用制限のある資料

以下の資料については利用が制限されます。

- ① 作成又は取得後30年を経過していない公文書
- ② 「東京都公文書館における公文書等の利用に関する取扱規程」第2条第2項又は第3項により一般の利用が制限されている次の公文書等
 - ・個人情報等が記録されているもの
 - ・利用によって破損や汚損を生じるおそれがあるもの
 - ・現在、館において使用しているもの（目録作成など、保存及び利用の開始のため使用しているものを含む。）
 - ・一般の利用に供しないことを条件として寄贈された資料

利用案内・交通案内

【利用案内】

平成24年5月11日（金）から閲覧業務を再開します。

- ① 利用時間
月曜日～金曜日 9時～17時
- ② 閲覧票・複写申請票等の受付時間
9時～12時、13時～16時30分
- ③ 休館日等
 - ・土曜日、日曜日、国民の祝日及び振替休日
 - ・年末年始（12月28日～1月4日）
 - ・臨時の休館日として公示した日
 - ・毎月第3水曜日（祝日の場合は翌日）
 - ・3月31日

※臨時に閲覧を停止する日もありますので、事前に当館ホームページにてご確認ください。

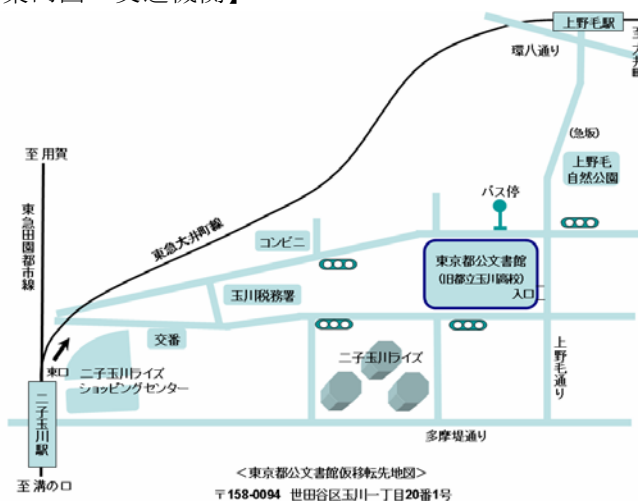
- ④ 駐車場
身障者専用駐車場をご用意しています。利用される場合には、事前にご連絡ください。
なお、一般の方は利用できません。

【所在地】〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-20-1

【TEL】03-3707-2603 【FAX】03-3707-2500

【ホームページ】<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/01soumu/archives/index.htm>

【案内図・交通機関】



- ① 東急田園都市線・東急大井町線「二子玉川」駅
東口下車 徒歩約15分
- ② 東急大井町線「上野毛」駅下車 徒歩約10分
- ③ 二子玉川駅、上野毛駅 東急バス「玉川高校前」
下車（黒02系統）



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。